

令和2年発生

# 国土交通省所管公共土木施設災害の状況

○令和2年7月3日～7月11日の梅雨前線豪雨による被災直後



完成後



令和4年3月

鹿児島県土木部

## は し が き

令和2年は、7月3日から8日にかけて、梅雨前線が九州付近を通過して東日本に伸びてほとんど停滞したことから、前線の活動が活発で、西日本や東日本で大雨となり、特に九州では7月4日から7日は記録的な大雨となりました。

気象庁は、鹿児島県、長野県、岐阜県、福岡県、佐賀県、長崎県及び熊本県の7県に大雨特別警報を発表し、最大級の警戒を呼び掛けました。

その後も前線は、本州付近に停滞し、西日本から東北地方の広い範囲で雨の降る日が多くなり、特に7月13日から14日にかけては中国地方を中心に、7月26日から29日にかけては東北地方を中心に大雨となりました。

なお、気象庁は、7月3日から7月31日までの豪雨に対し、令和2年7月豪雨と定めました。

本県では、令和2年に公共土木施設が被災した異常気象（豪雨、梅雨前線豪雨、台風）は19回あり、全体被害額（査定決定額）は、県・市町村合わせて約191億4千万円（973箇所）となりました。

異常気象のうち7月豪雨は、鹿屋市で7月の降水量が平年値（353.4mm）を大きく上回る1,390mmを観測するなど、大隅地方や北薩地方を中心に被害が発生し、災害査定額ベースで、県工事約92億6千万円（463箇所）、市町村工事約47億7千万円（354箇所）、合計約140億円（817箇所）となりました。

なお、7月豪雨による被害額（査定決定額）は、全体の約73%を占めました。

本県は、災害を受けやすい地理的、気象的諸条件下にあります。「安心・安全な県民生活の実現」を目指し、梅雨前線豪雨や台風などによる自然災害の未然防止に努め、また、災害が発生した際は速やかな災害復旧に努めることとしています。

ここに、令和2年発生 of 国土交通省所管公共土木施設災害の状況を収録しました。今後の防災及び災害復旧の参考にしていただければ幸いです。

最後に、本県の災害査定に際して、御指導、御協力をいただきました国土交通省の災害査定官、検査官、事務官及び財務省の立会官各位並びに災害復旧に御尽力いただいた関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

令和4年3月

鹿児島県土木部長 児島 優一

# 目 次

## I 災害の概況と対策

1 概況	1
2 災害対策の促進	1

## II 異常気象別災害の概況

1 令和2年発生 of 異常気象別災害状況(決定額)	4
2 主な異常気象別決定額内訳	4
3 令和2年発生災害地域振興局等別・工種別災害報告額	6
4 令和2年発生災害工種別決定額	6
5 令和2年発生災害の査定申請額及び決定額(地域振興局等別・工種別内訳)	8
6 令和2年発生災害の被災原因別・工種別分類(県・市町村別内訳)	10
7 災害異常気象別・地域振興局等別決定額	14
8 工種別工事規模別分類表(決定額)	34
9 市町村被災原因別分類(決定額)	36
10 令和2年発生災害の市町村別査定申請額及び決定額	46
11 実査・机上別分類	52
12 失格箇所調	52
13 欠格箇所調	52

## III 令和2年発生災害の改良復旧事業

1 改良復旧事業	53
----------	----

## IV 異常気象の概要

1 気象概況と出水の状況及び一般被害	58
2 降雨状況及び等雨量線図	77

## V 参考資料

1 令和2年発生公共土木施設災害復旧事業査定日程表及び班編制	170
2 激甚災害に係る特定地方公共団体調べ(平成23災～令和2災)	174
3 令和2年発生災害に係る市町村別事業費及び国庫負担率	175
4 過去10年の公共土木施設災害復旧事業査定結果	176
5 過去10年の公共土木施設災害復旧事業決定額	177
6 過去10年の公共土木施設災害復旧事業箇所数	178
7 令和2年発生災害公共土木施設災害復旧事業地域振興局等別決定額	179
8 令和2年発生災害公共土木施設災害復旧事業地域振興局等別箇所数	179
9 令和2年発生災害の決定額及び比率	180